

平成30年度

新潟県特別支援教育コーディネーター専門研修

# 関係機関(福祉・就労支援等)との 連携支援について

新潟大学 教育学部

有川 宏幸

[arikawa@ed.niigata-u.ac.jp](mailto:arikawa@ed.niigata-u.ac.jp)

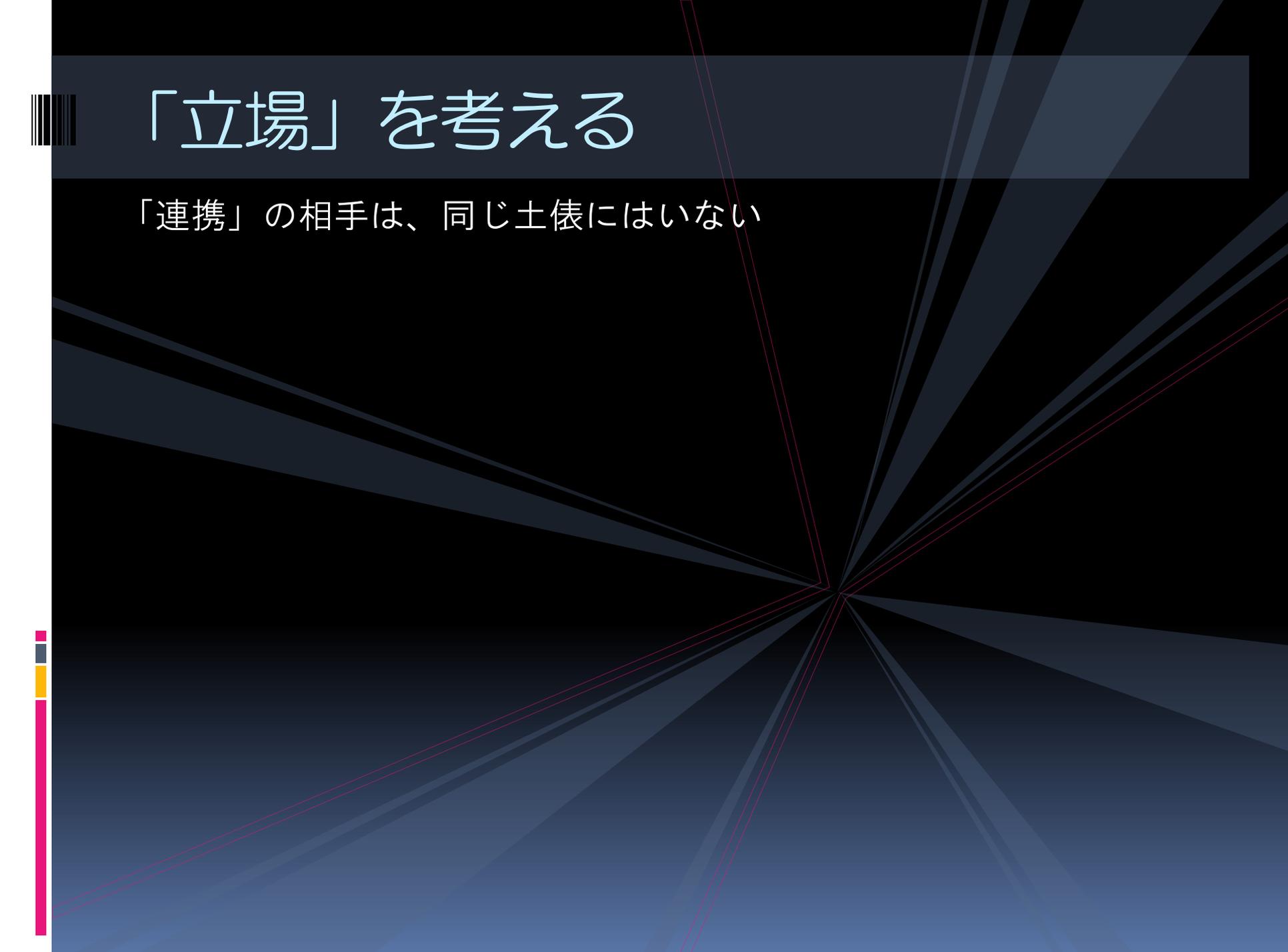
# 0.はじめに

- 「連携」をするのは、皆さんであり、他の誰でもない。
- 「連携」をする相手は、あなたとは全く異なる考え方を許容されている人達です。
- 「連携」には、知識が必要です。
- 「連携」とは、専門家同士の対話であり、交渉です。
- 「連携」には、教育者としての専門性がどこにあるのか説明できなければならない。



# 「立場」を考える

「連携」の相手は、同じ土俵にはいない



# これは身勝手な要求だろうか？

- 「先生への対応がもっとよければ、うちの子はちゃんとできます。前の担任の先生のはときは、個別に対応してくれていたもので、算数もなんとかみんなと同じ内容をやってこれています」

「1年生ならまだしも、3年生ともなるとさすがに・・・他の子もいるので、じっくり横について指導する余裕もありませんし・・・」と言いたいところ・・・。

# 我が子が一番・・・?!

- 自分の子どもの事を優先することに、何の問題があるのだろうか……。逆に人の子どもの事を考えるとは、どのような場面が考えられるか?
- 自分の子どもも、他人の子どもも同じように考えるとは、どういうことか?

「自分の子どものことしか考えない親がいる・・・」

これは問題なのだろうか。

# 親が我が子を助けること

- 二人の子どもが海でおぼれていた。あいにく、ボートは大人一人と子ども一人が乗れるスペースしかない。さらに不幸なことにボートには生き残るために必要な食料と水を積んでおり、重たかった。子ども二人の力では、陸にたどり着くことはできない。
- さて、二人の子どものうちの一人は、ボートを漕ぐ母親の子どもであった。
- 母親は、自分の子どもを助けた。これは許されることであろうか、それとも許されない事であろうか。

親が自分の子どもの事を優先的に考えることは、果たして非難されるべきことなのだろうか . . .

# 専門機関は・・・

- 二人の子どもが海でおぼれていた。あいにく、ボートは大人一人と子ども一人が乗れるスペースしかない。さらに不幸なことにボートには生き残るために必要な食料と水を積んでおり、重たかった。子ども二人の力では、陸にたどり着くことはできない。
- さてボートを漕いでいたのは、二人の子どものうちの一人を小さい頃からよく知る人物であった。
- この人物は、自分のよく知る子どもを助けようとした。なぜなら、この子があまり泳げない事を知っていたからだ。ちなみに、2人の子どもの泳力は同じであった。

# 教師が子どもを助けること

- 二人の子どもが海でおぼれていた。あいにく、ボートは大人一人と子ども一人が乗れるスペースしかない。さらに不幸なことにボートには生き残るために必要な食料と水を積んでおり、重たかった。子ども二人の力では、陸にたどり着くことはできない。
- さて、あなたがボートを漕いでいたとする。二人の子どもはともにあなたの教え子だ。そして、あなたはそのうちの一人を助け出した。これは許されること、それとも許されない事?

# 我々が知るべき事は

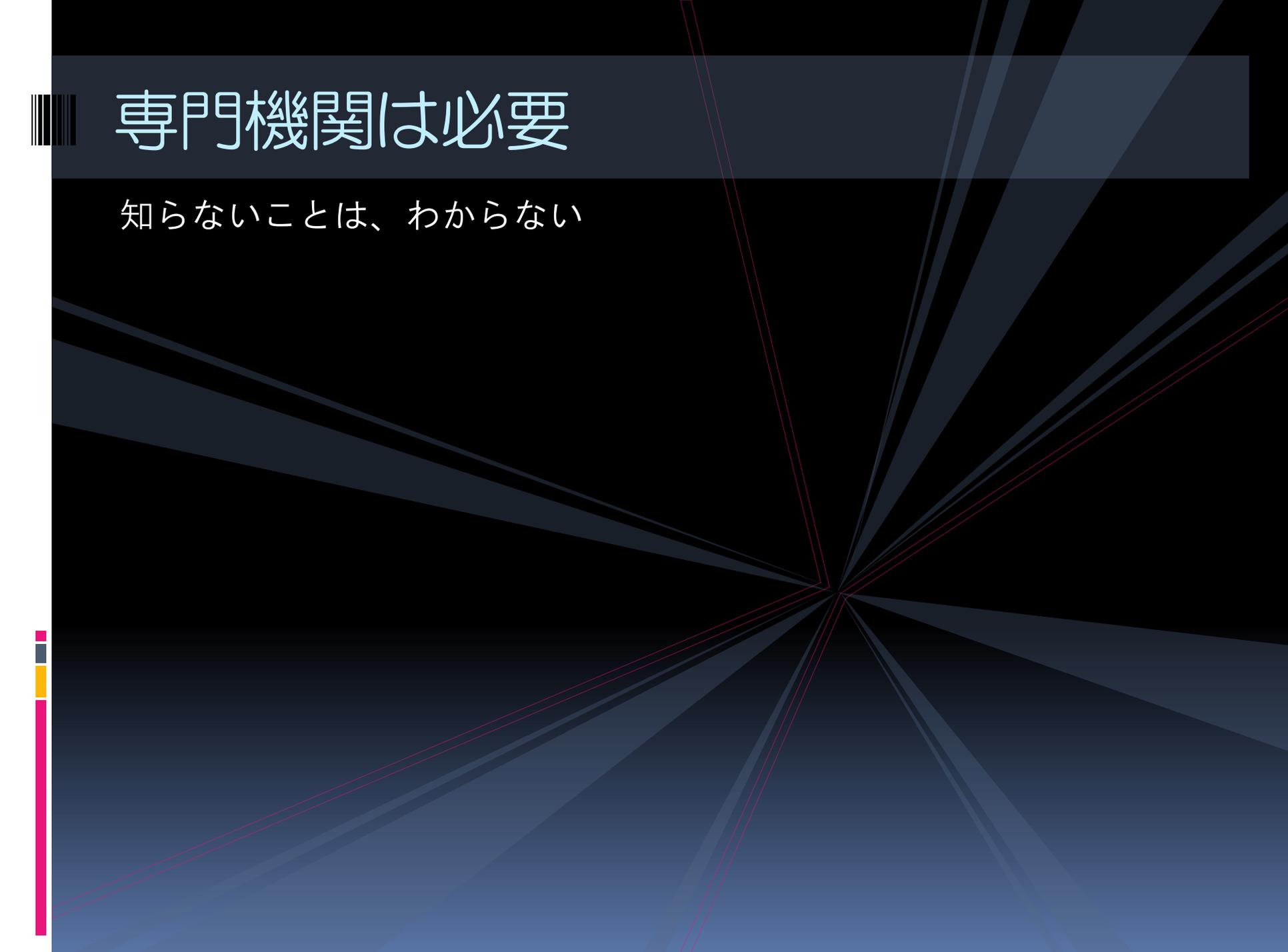
- 実は、私たちは同じ子どもに関わる立場でも、そもそも同じ土俵に立つには違いすぎるのである。
- その違いに気づく事、知る事からまずは始めなければならない。
- 「連携」には、その違いを前提とし、それぞれの専門性を尊重しながら、協働する姿勢が求められている。

ところで、教師の専門性って何ですか？  
医療、福祉や保護者との立場が異なることは明らかなのですが・・・後程考えたいと思います



# 専門機関は必要

知らないことは、わからない



# 障害者虐待防止法から考えてみよう?

「障害者虐待防止法」とは、

- 「養護者による障害者虐待」「障害者福祉施設従事者等による障害者虐待」「使用者による障害者虐待」をいう。
- 障害者虐待の類型は、「身体的虐待」「ネグレクト」「心理的虐待」「性的虐待」「経済的虐待」の5つ。
- 平成24年10月1日から、国や地方公共団体、障害者福祉施設従事者等、使用者などに障害者虐待の防止等のための責務を課すとともに、障害者虐待を受けたと思われる障害者を発見した者に対する通報義務を課すなどしている。

# あなたは何と答えますか?

## Question!

- 新潟県の最低賃金時間額 753円(H28,10,1)。ちなみに「最低賃金の減額の特例」と言うものもあります。

先生「この生徒は、清掃の仕事については、十分な能力を兼ね備えています」

雇用主「確かに十分に能力あるよ。でも、うちも今、余裕がないんだよね。どんどん、よそとの競争が厳しくなってるしね・・・先生の熱意はわかるんだけど」

先生「そこをなんとか」

雇用主「う～ん、じゃ試しにということでもいいかな。給料も、悪いけど最低賃金は出せないよ。それでもよければうちで面倒見るよ」

先生「(O )」

【参考】 第6表 年度別・虐待種別障害者数(虐待が認められた障害者)

	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放置等による虐待	経済的虐待	合計
25年度	28	8	52	5	352	445
	6.3%	1.8%	11.7%	1.1%	79.1%	100%
26年度	32	9	46	18	508	613
	5.2%	1.5%	7.5%	2.9%	82.9%	100%
27年度	87	11	88	16	984	1,186
	7.3%	0.9%	7.4%	1.3%	83.0%	100%
28年度	57	6	115	14	852	1,044
	5.5%	0.6%	11.0%	1.3%	81.6%	100%

(単位:人)

- 虐待種別については、重複しているものがある。
- 四捨五入による端数処理の関係で合計が100%にならないことがある。

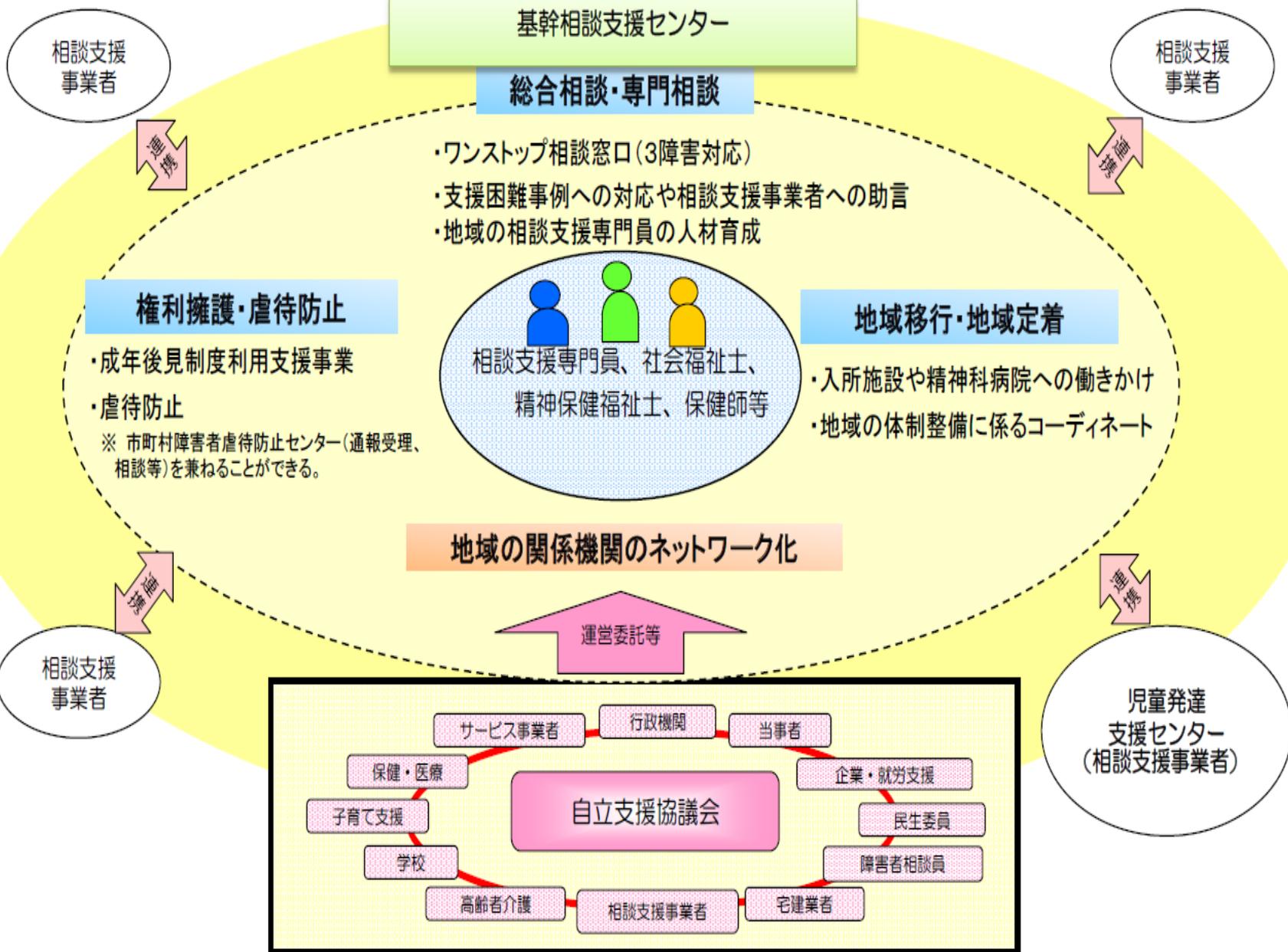
## 厚生労働省 (2017)

知的障害者への経済的虐待に関する通報・届出が最多。発達障害を除いた障害者については、経済的虐待に関する通報・届出が最も多い。

# どこに相談すれば・・・

もし、困ったら・・・たらい回しになるかもしれませんが以下のところへとりあえず駆け込むことも一つです。

- 市役所 障がい福祉課等
- 新潟県発達障害者支援センター「RISE (ライズ)」
- 基幹相談支援センター(ワンストップ相談窓口として設置されています。ただしストップするかはわかりません)
- もしくは、WAMNET で調べる  
[wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top](http://wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top)



基幹相談支援センター

総合相談・専門相談

- ・ワンストップ相談窓口(3障害対応)
- ・支援困難事例への対応や相談支援事業者への助言
- ・地域の相談支援専門員の人材育成

権利擁護・虐待防止

- ・成年後見制度利用支援事業
  - ・虐待防止
- ※ 市町村障害者虐待防止センター(通報受理、相談等)を兼ねることができる。

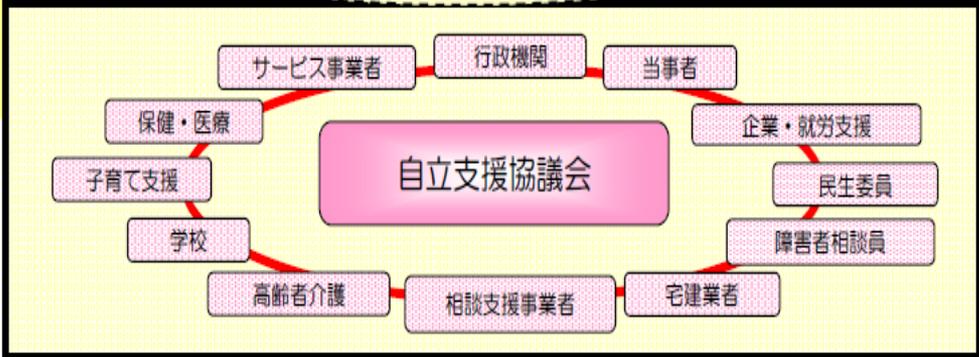
地域移行・地域定着

- ・入所施設や精神科病院への働きかけ
- ・地域の体制整備に係るコーディネート

相談支援専門員、社会福祉士、  
精神保健福祉士、保健師等

地域の関係機関のネットワーク化

運営委託等

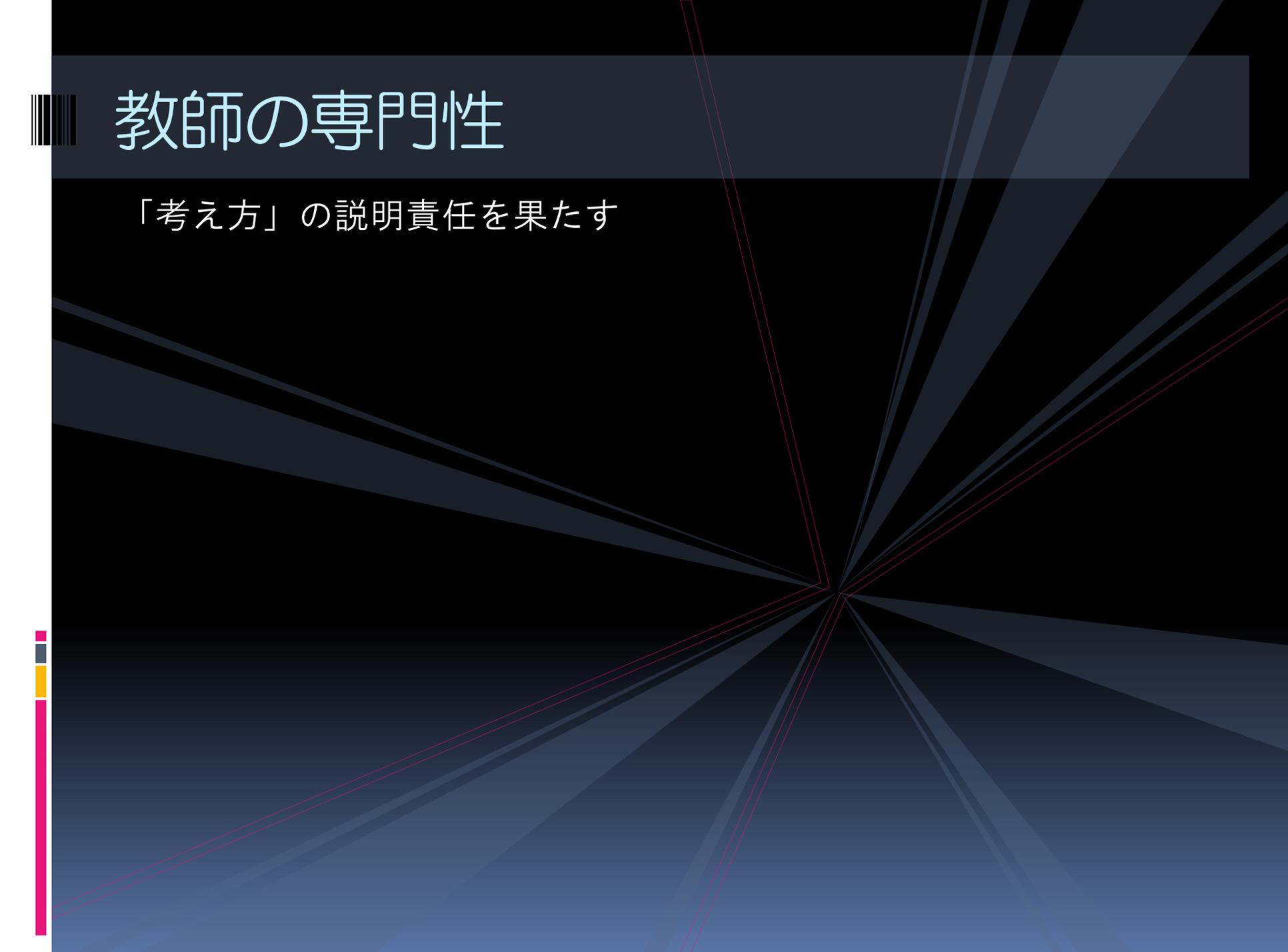


児童発達  
支援センター  
(相談支援事業者)



# 教師の専門性

「考え方」の説明責任を果たす



# こんなことがありまして1

## ある行動障害を抱える子の母の話

母親「センセ・・・うちの子、今年は学校で上手くいってなくて。この子にだけ特別に何かしてあげるとするのは他の子にもあまりよいことではないと言う考え方で・・・。」

毎年、担任の「考え方」が子どもの生活に影響しているようです。さて「考え方」とはそもそもなんのでしょうか？

Discussion!

# 平等が意味するもの その1

「先生、うちの子、ごはん嫌いなんです。  
パン持たせますので、給食はパンを食  
べさせてください」



ざ・ふびょうどう



≠



なぜ、同じものを食べなければならないか、説明できますか？

Discussion!

平等が意味するもの その2

「給食係さん、給食の量はみんなに  
同じ量でよそってね」

「センセー、ア리카ワ君のご飯の量だ  
け多いです!!」

「んっ…、ア리카ワくんはいいのよ」

ざ・ふびょうどう



>



さて、これで子ども達は納得するの  
でしょうか?

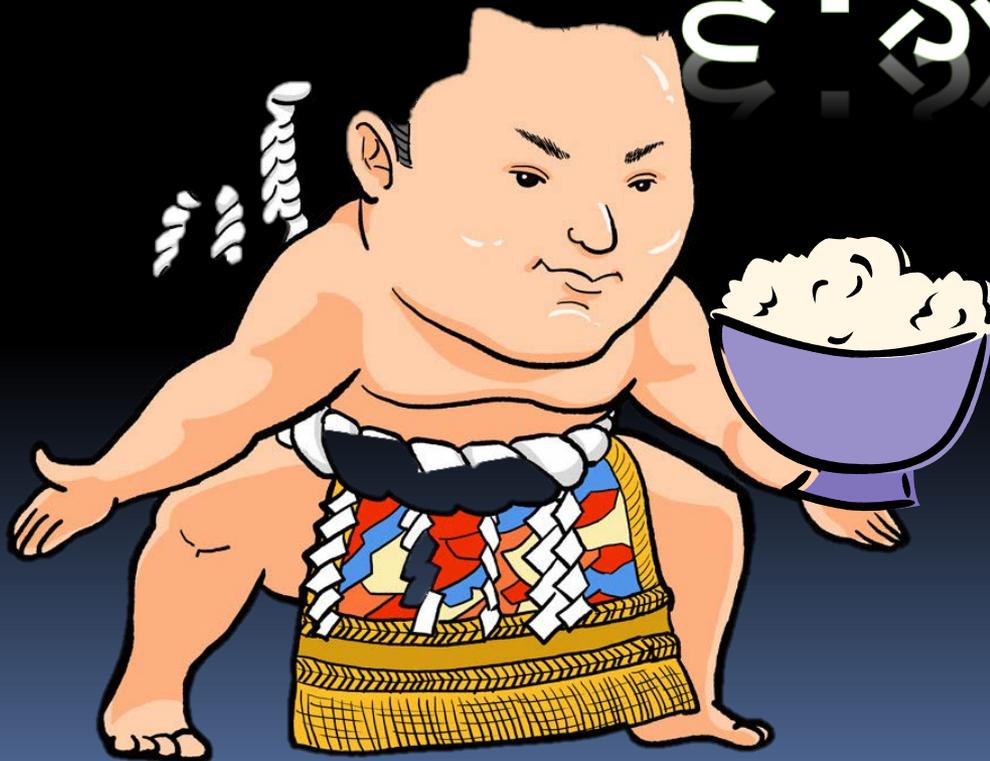
Discussion!

# 平等が意味するもの その3

「相撲部のハクホウくんだけ、ご飯の量が多いですが…」



## ざ・ふ・び・ょう・どう



>



# 説明責任を果たす

- 今は、「学校の先生が言うのだから・・・」などということはほとんど通りません。教育の専門家としての合理的説明が求められます。
- 価値観が多様になった以上、前提となるのは「私とあなたは違う」のです。
- だからこそ「なぜ、それをするのか」、説明を尽くすことが必要なのです。



# ハズさないための連携

校内連携のいろは



# こんなことがありまして2

## ある放課後等児童デイの職員の話

職員「センセ・・・この子、ここのところちょっと不安定で。担任変わって学校で上手くいっていないみたいなんですよね・・・。今年はハズレって親御さんが言ってました」

巷では年度初めは「今年の先生は当たり」とか「ハズレ」が話題です。そもそも「当たり」「ハズレ」とは何なんでしょう。

# ゼロから始まらない人間関係

- 人間関係は、はじめてあった場合は第一印象がかなり重要です。
- ただし、そうでない場合は . . .

「良く」も「悪く」も「当たり、ハズレの印象」は、伝聞によるものである . . . となると。

# それではちょっとここで・・・（演習）

## 問い

「あなたには、好きな人がいます。その人とつきあいたいと思っています。

さて、あなたの思いを告白するまでの道のりを整理してみましよう」

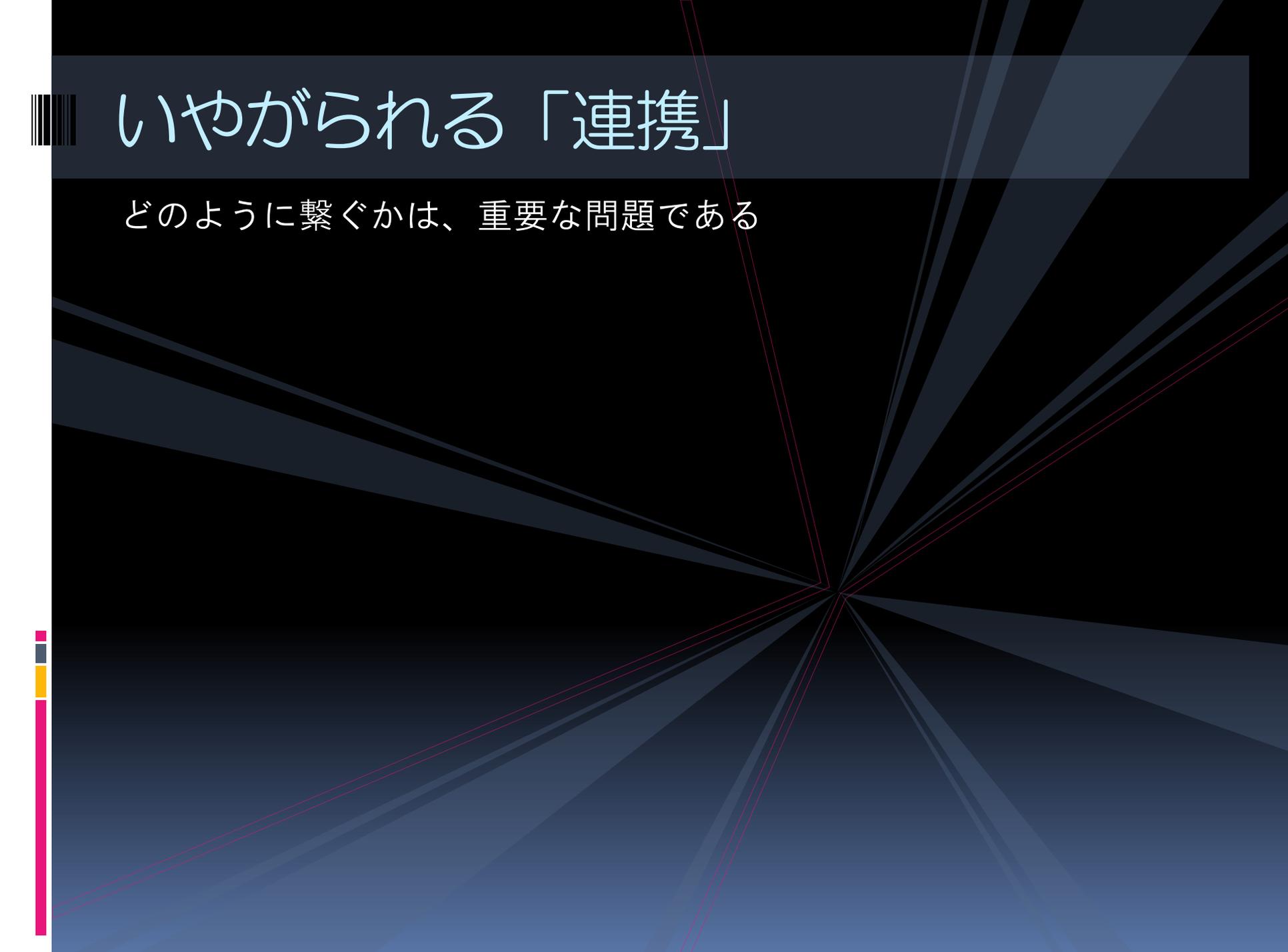
A：告白したい人

B：「告白したい人」の幼なじみ



# いやがられる「連携」

どのように繋ぐかは、重要な問題である



# こんなことがありまして3

## 病院受診後の父親の話

「センセ・・・うちの子、吃音が気になるから相談したら、病院薦められ受診したのに、自閉症と診断されました。多分、学校での様子が友達とのトラブルなど書いていなかったからだと思うんです。どうも納得できません。どうしたらよいですか」

他機関に紹介した理由はどのように説明されていきましたか？

実は、紹介された方も、怒ってますよ。

# 無責任な紹介をしてはいけない

- 別の専門機関を紹介する時は、まず丁寧に以下のことを説明する必要がある。曖昧な紹介はその後の混乱を招きます。
  - 1) 今、どのような状態にあるか。
  - 2) そのために必要な事は何なのか。
  - 3) それらを解決するにはどうすべきか。
  - 4) その解決のための詳細な情報提供を行う  
(ここで初めて紹介が可能となります)。



# おわりに

「連携」と「コーディネーター」



# 有川研究室

E-Mail : arikawa@ed.niigata-u.ac.jp

Twitter: <https://twitter.com/aripiyon>

Facebook : <https://www.facebook.com/arikawa.hiroyuki>

HP: <http://arichannel.jp/>

本日使用したパウポのPDFを、1週間  
だけホームページの「研修資料」

<http://arichannel.jp/research-program/lecture-meeting/>

にアップしておきます。



研究室公認ゆるキャラ「あり犬」